

## G1高松宮記念

<最終見解>

本命はルガル。

父も母父も非サンデー系は当レース好相性。

父のドゥラメンテも当レース毎年のように連対馬を出している大系統ミスプロ系。

ドゥラメンテの父キングカメハメハはロードカナロアの父。

ドゥラメンテの近親には多数の G1 馬がいますが、高松宮記念もオレハマッテルゼが勝っています。

母の母父はストームキャット。当レースで 4 年連続馬券対象馬を出し、

自身も当レースを勝っているロードカナロアもキングカメハメハとストームキャットの配合馬。

キングカメハメハとストームキャットを両方持つ配合パターンは当レースに最適。

母父ニューアプローチはシンコウフォレストの近親。

同馬もタフな馬場で行われた高松宮記念を優勝。

タフな馬場での減速幅も他の馬に比べて少ないでしょう。

対抗はビクターザウィナー。

父トロナードはサドラーズウェルズ系のハイシャパラル産駒。

単純に重い芝を苦しめないサドラーズウェルズ系が父か母父というのもルガルとこの馬のみ。

母系にはゴーンウェストとダンチヒ。

当レースを勝ったモズスーパーフレアもゴーンウェスト系。

母は高松宮記念適性の高い血統。

タフな中京芝 1200m は香港で高いパフォーマンスを発揮した馬がそのまま走ります。

ママコチャは近親にハヤヤッコ。

牝系、母父ともに高速タイムで走れる馬を出しますが、

タフな馬場でも減速幅が少ない馬を出しやすい血統。

外不利の馬場になった場合は先行して内を回る競馬もできる馬です。

2 マッドクールと 5 トウシンマカオは軽い馬場得意なタイプ。

人気ほどの確率はないと見立てます。

## G3マーチステークス

### <最終見解>

米国指向の持続力に優れた血統に向いているレース。  
父か母父が米国型ノーザンダンサー系か米国型ナスルーラ系に注目。

該当血統馬は 2019 年にサトノティターンが 8 番人気 1 着、  
リーゼントロックが 12 番人気 3 着。2020 年にレピアーウィットが 8 番人気 3 着。  
2021 年にレピアーウィットが 6 番人気 1 着。2022 年にメイショウハリオが 1 着、  
ケンシンコウが 12 番人気 2 着。2023 年にハヤブサナンデクンが 5 番人気 1 着。

特に相性が良いのはヴァイスリージェント系、エーピーインディ系の血を持つ馬。

2019 年 8 番人気 1 着のサトノティターンは母父ヴァイスリージェント系。  
11 番人気 2 着ロンドンタウンは父母父ヴァイスリージェント系。  
12 番人気 3 着リーゼントロックは母父エーピーインディ系。  
2022 年 1 着のメイショウハリオと 12 番人気 2 着のケンシンコウは父がエーピーインディ系。  
2023 年 5 番人気 1 着ハヤブサナンデクンは母父ヴァイスリージェント系。

大型馬も有利。過去 5 年で馬券になった 16 頭中 10 頭が前走馬体重 500 キロ以上。  
特に前走馬体重 520 キロ以上は複勝率 29%、複勝回収率 179%。人気薄の好走も多いです。

本命は 6 ラインオブソウル。

父エーピーインディ系。父母父はヴァイスリージェント系。  
大型馬。シニスターミニスター産駒も 2017 年に二桁人気で 1 着。  
近親にラブミーチャン。砂重賞に実績ある一族です。